



2013年12月17日
イオン北海道株式会社

札幌駅にアイヌアートモニュメントを！

イオン北海道・マックスバリュ北海道・コープさっぽろの3社で
アイヌアートモニュメント設置支援募金を実施します

2014年1月1日(水)から1月31日(金)までの期間、当社はマックスバリュ北海道株式会社、生活協同組合コープさっぽろ様とともに、札幌大学ウレシパクラブが取り組むアイヌアートモニュメント札幌駅構内設置への支援募金を実施することとなりました。この取組みは「イランカラテ」キャンペーン推進協議会構成員で札幌大学副学長の本田優子氏のご提案を受けたもので、3社はキャンペーンの一環としての取組みに賛同する民間企業サポーターとして実施いたします。

「イランカラテ」推進協議会はアイヌ文化等の普及啓発をより一層推進するため、本年2013年度から2015年度の3年間を重点期間として、国(内閣官房)が事務局となり北海道(アイヌ政策推進室)、札幌大学などが参画して、アイヌ語のあいさつ「イランカラテ(『こんにちは』の意)」を「北海道のおもてなし」のキーワードとして普及させるキャンペーンを担う協議会です。

今回、お客さまからお預かりした募金は、全額を札幌大学ウレシパクラブへ寄付し、JR札幌駅構内に設置するアイヌアートモニュメント製作費として使用されます。

イオン北海道株式会社は、このモニュメントがアイヌ文化のすばらしさを、北海道民だけでなく、国内外から来られる観光客へと伝え、北海道独自のアイヌ文化が、現代における自然との共生、多様な文化が共存できる、豊かな社会づくりのヒントとなって、未来へと受け継がれていくことを願っています。

記

- 【期間】 2014年1月1日(水)～1月31日(金)
- 【募金箱設置店舗】 イオン北海道株式会社 GMS(31)、本社、イオンバイク(2)
まいばすけっと(12)を含む全店舗
- 【協同企業】 マックスバリュ北海道株式会社
生活協同組合コープさっぽろ

■ 本件に関するお問い合わせ

イオン北海道株式会社 広報部 TEL: 011-865-9111

《ご参考までに》

イオン北海道のアイヌ文化普及に関する活動について

① 従業員対象アイヌ文化教室

北海道に根付く企業として、まずはイオンで働く従業員を対象にしたアイヌ文化教室を2012年からスタート。本年も、札幌平岡店、釧路昭和店、苫小牧店の、従業員や関係会社の従業員様を対象に、北海道アイヌ政策推進室より講師の方に来ていただき、各店1日2回、1回2時間、アイヌ民族の楽器の使い方や生活、国の先住民族向けの政策などを理解する勉強会を開きました。

② アイヌ文化イベントの開催

2012年、イオンモール札幌平岡店のイベントコートを使用し、お客さま向けのアイヌ文化普及イベントを行いました。北海道アイヌ政策推進室、白老の北海道アイヌ民族博物館スタッフのご協力の下、アイヌ民謡・踊り・伝統楽器「ムックリ」の実演・伝統衣装を着ての記念写真撮影会、会場では、パネル展やパンフレットを配布いたしました。

「イランカラプテ」キャンペーンについて

「イランカラプテ」とはアイヌ語で「こんにちは」の意味で、アイヌ語の教本などでは、やや丁寧なあいさつと紹介されています。萱野茂氏(1926年-2006年、元参議院議員)は「イランカラプテ」という言葉の原義を「あなたの心にそっと触れさせていただきます」と解釈しており、推進協議会では、温かく、ホスピタリティ溢れるメッセージを持つこの「イランカラプテ」を、ハワイの「アロハ」、沖縄の「めんそーれ」と同様に、「北海道のおもてなし」のキーワードとして普及させるキャンペーンを本年からスタートいたしました。

一般社団法人札幌大学ウレシパクラブについて

「アイヌ民族の歴史や文化を深く学習、研究することによってアイヌ文化に対する理解を促進する」ことを基本的な目的とし、学生、企業が協力しあい、共に活動していく組織です。